

I. 平成23年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成20年3月～平成25年3月(5年1月)

1. 概況

本年度は、平成22年に開催された「平城遷都1300年祭」の追い風を受けながら目標達成に向けて大きな飛躍の年としたかったが、観光施設の閉館、東日本大震災による観光分野の低迷などがあり、思うような結果を示すことが出来なかった。

一方で、平成23年12月に「株式会社まちづくり奈良」が設立され、平成24年3月にJR奈良駅高架下に大型商業施設「ビエラ奈良」が開業し、同年4月には「奈良町からくりおもちゃ館」が開館を迎えるなど明るい話題もある。

今後、人の流れを生み出す拠点づくりを進めていく中で、それを商業の活性化に結び付けていくよう最大限の努力を払っていく必要がある。

基本計画に掲載された総86事業のうち、36事業が実施済み、45事業が実施中、5事業が未完了(3事業が未着手)である。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
訪れたいまち	文化・観光施設の年間入込客数 (中心市街地主要7施設)	246,576 人 (H18)	291,720 人 (H24)	211,734 人 (H23)	④	④
歩きたいまち	歩行者・自転車通行量 (休日)	84,993 人 (H17)	91,230 人 (H24)	78,341 人 (H23)	③	③
活力のあるまち	小売業年間商品販売額	435億 円 (H18)	466億 円 (H24)	420億 円 (H21)	-	③

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。  
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。  
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。  
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

### 3. 目標達成見通しの理由

「文化・観光施設の年間入込客数」は、前回の数値を大きく下回った。これは対象施設の一つ「なら奈良館」の閉館（平成 23 年 3 月）、東日本大震災の余波といった 2 つの大きな要素が重複したことが影響しており、今後対策を講じる必要がある。

「歩行者・自転車通行量」は、平成 22 年開催の平城遷都 1300 年祭が終了したことを受けて前回の数値を下回ったが、目標の達成は可能であると見込まれ、引き続き最大限の努力をしていく。

「小売業年間商品販売額」に関しては、最新値（平成 21 年）が奈良市の独自調査による推計値であることから判断には慎重を要するが、目標達成は可能な範囲であると見込んでおり、引き続き最大限の努力をしていく。

### 4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から変更なし。

### 5. 今後の対策

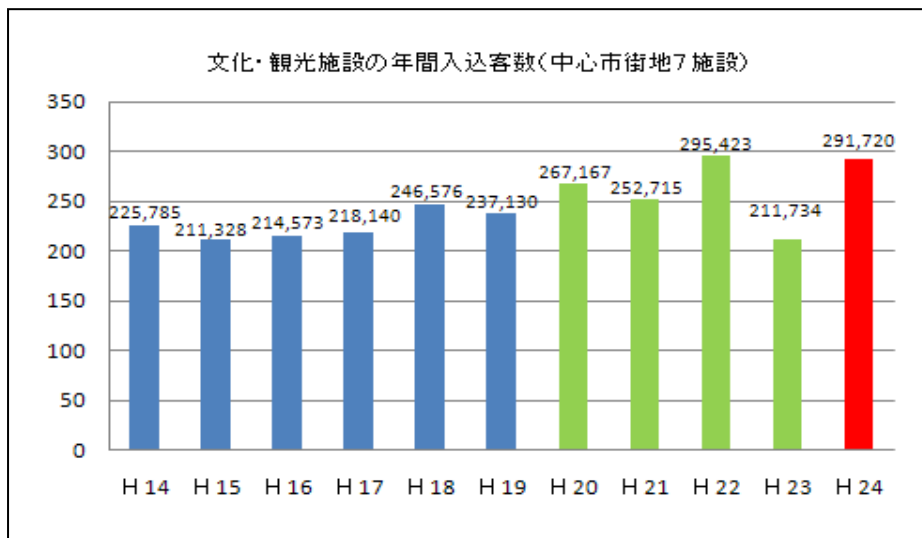
目標達成のために様々な取り組みを継続、発展させていく必要がある。特に「なら燈花会」「あるくん奈良スタンプラリー」など集客力のあるまち歩きイベントと商業との連結の強化、起業家支援による商店街の若返りの円滑化、新しい商業・観光施設を拠点としたまちづくりに注力していく。

## Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「訪れたいくなるまち」

「文化・観光施設の年間入込客数(中心市街地主要7施設)」

※目標設定の考え方基本計画 P68～P70 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H18	246,576 (基準年値)
H19	237,130
H20	267,167
H21	252,715
H22	295,423
H23	211,734
H24	291,720 (目標値)

- 注) 1. 調査方法：施設入館者数  
 2. 調査月：平成 23 年 1 月～平成 23 年 12 月  
 3. 調査主体：奈良市  
 4. 調査対象：ならまち振興館、ならまち格子の家、名勝大乘院庭園文化館、杉岡華邨書道美術館、なら工芸館、なら奈良館

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. なら工芸館活用事業（奈良市）

事業完了時期	【実施中】平成 12 年度～
事業概要	「なら工芸館」を活用し、奈良工芸の振興及び後継者の育成を図るとともに、工芸品の展示や工芸フェスティバル、各種企画展等により観光客にも親しんでもらう。
事業効果又は進捗状況	今年度は、東日本大震災の影響等により年間入館者数が前年比で約 20%（11 千人）減少した。 一方で、英語版パンフレットの作成や、工芸教室の早朝開催、新たな工芸教室の企画を通じて、多様なニーズの対応と掘り起こしを進めている。

#### ②. 音声館、ならまちセンター、ならまち振興館、名勝大乘院庭園文化館、杉岡華邨書道美術館の活用（奈良市）

事業完了時期	【実施中】平成元年～
事業概要	上記の施設を利用し、芸術、文化の振興を図るとともに、観光客の

	誘致及びならまちの保存と賑わいの実現を図る。
事業効果又は進捗状況	<p>名勝大乘院庭園文化館に関しては、隣接する名勝大乘院庭園が公開されるとともに、指定管理者がJR西日本グループの奈良ホテルに代わり、広報活動の充実をはじめとする民間活力の活用が図れるようになった。</p> <p>音声館に関しては、従来まで事業の多くが地元の人向けであったが、観光客対象の事業も充実させていく予定である。</p>

③. 名勝大乘院庭園史跡等・登録記念物保存修理事業（奈良市）

事業完了時期	【済】平成23年度
事業概要	室町時代の代表的な庭園である旧大乘院庭園の発掘調査を実施し、その成果に基づいて復元整備を行う。
事業効果又は進捗状況	長らく庭園の復元整備を行ってきたが、平成22年4月から、平城遷都1300年祭に合わせて一般公開を始めた。同時期に、庭園の日常管理をJRグループの奈良ホテルに委託することで、より積極的な広報宣伝や、民間ならではのきめ細やかな接客サービスに取り組んでいる。

④. ならまち舞台縁起座「明新」による効果（株式会社明新社）

事業完了時期	【未】平成21年度
事業概要	印刷工場であった建物を楽屋舞台としてリニューアルし、新たな芸能・芸術を発信するキーステーションとする。
事業効果又は進捗状況	世界的な経済不況の影響を受け、当初予定の事業内容の見直しを行っている。

⑤. 正倉院展関連スタンプラリーイベント「はじまりは正倉院展」事業  
（奈良市中心市街地活性化研究会）

事業完了時期	【実施中】平成18年度～						
事業概要	毎秋に開催される正倉院展の来館者に、商店街まで足を運んでもらうため、まちづくり団体や近隣の大学が中心となって始めたスタンプラリーイベント。文化・観光施設にもスタンプを設置している。						
事業効果又は進捗状況	<p>今回は、スタンプ設置個所の一部を「ガイドポイント」と称し、語り部が地域に伝わる伝説や歴史を参加者に紹介した。地域への愛着を深めていただき、今後のリピートを促す試みで好評を得た。今後もイベントを継続し、さらに発展させていく予定である。</p> <p>参加者数推移</p> <table border="1"> <tr> <td>平成18年</td> <td>3,066人</td> </tr> <tr> <td>平成19年</td> <td>5,863人</td> </tr> <tr> <td>平成20年</td> <td>7,852人</td> </tr> </table>	平成18年	3,066人	平成19年	5,863人	平成20年	7,852人
平成18年	3,066人						
平成19年	5,863人						
平成20年	7,852人						

平成 21 年	7,689 人
平成 22 年	12,698 人
平成 23 年	16,736 人

⑥. 「なら燈花会」推進事業（NPO法人 なら燈花会の会）

事業完了時期	【実施中】平成 11 年度～
事業概要	2 万本を超えるろうそくの灯りが奈良公園一帯に広がり、奈良の夏の夜が幻想的な雰囲気にもまれる。
事業効果又は進捗状況	平成 11 年度から始まった同事業は、初年度の来訪者数は約 17 万人であったが、年々来訪者数は増加し、ここ数年は 70 万人以上を呼び込む奈良を代表するイベントの一つに成長した。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

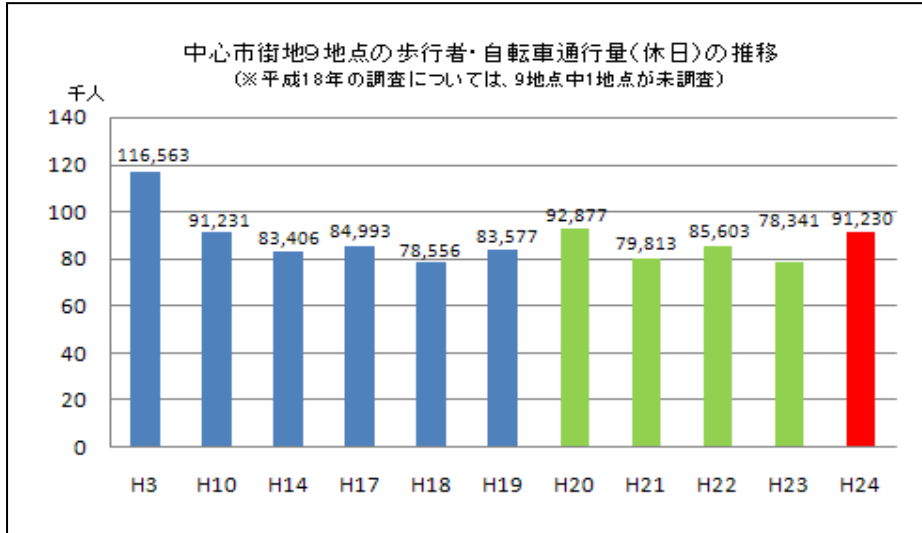
文化・観光施設の年間入込客数は、昨年を大きく下回った。本年度は、平成 22 年に開催した平城遷都 1300 年祭によって獲得した話題性と知名度を活かし、目標達成に向けて大きく踏み出す 1 年としたかったが、最新値は今後の見通しが厳しいことを示した。特に、毎年 4 万人以上の来館者のあった「なら奈良館」の閉館と東日本大震災に端を発する外国人観光客の減少は、国際文化観光都市を標榜する本市にとって大きな打撃となった。

今後は、平成 24 年 4 月に「奈良町からくりおもちゃ館」といった幅広い客層を対象とした施設がオープン予定であり、年間約 10 万人の来館者を見込んでいる。加えて、商店街の人気スイーツを特集した物産展やスタンプラリーイベントなどの開催を通じ、まちの賑わいを連続的に創出していくなど、目標達成に向けた取り組みを進めていく。

## II. 目標毎のフォローアップ結果「歩きたくなるまち」

「歩行者・自転車通行量(休日)」※目標設定の考え方基本計画 P71～P74 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位：人)
H17	84,993 (基準年値)
H19	83,577
H20	92,877
H21	79,813
H22	85,603
H23	78,341
H24	91,230 (目標値)

- 注) 1. 調査方法：歩行者及び自転車通行量調査（毎年度8月実施）  
 2. 調査月：平成23年8月実施  
 3. 調査主体：奈良市中心市街地活性化協議会  
 4. 調査対象：歩行者及び自転車通行者、休日9地点

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. ならまち舞台縁起座「明新」による効果（株式会社明新社）【再掲】P4 参照  
 ②. テナントミックス事業（株式会社桶谷）

事業完了時期	【済】平成20年度
事業概要	長らく空き店舗となっていた施設を、近隣からの要望が多かった食料品を扱う店舗として再生させる。また、店舗前の広場を多目的スペースとして活用する。
事業効果又は進捗状況	平成22年には、前年同様レンタルスペースにて奈良県主催のお見合いパーティー、試飲会が行われた。さらに、新たにアートの発表の場や、地域のイベントに向けての会議室としても利用された。また、店舗前の広場では朝市や商店街主催のガラポン抽選会が開催された。今後も、継続して各種イベント等を実施する予定である。

- ③. ホテル建設事業（奈良市）

事業完了時期	【未】平成20年度～
事業概要	「奈良らしさ」を意識した内装で高規格・高品質のホテルの建設を

	行い、宿泊機能の強化を図る。
事業効果又は進捗状況	平成 21 年 3 月に事業主体がホテル建設着手段階で事業からの撤退を表明したため、交渉の末、奈良市がホテル用地を買い戻したが、昨今の社会経済情勢の下、新たな相手方を見つけることは困難であり、今後の目途は立っていない。

- ④. 正倉院展関連スタンプラリーイベント「はじまりは正倉院展」事業  
(奈良市中心市街地活性化研究会)【再掲】P4 参照

- ⑤. 「なら燈花会」推進事業 (NPO法人 なら燈花会の会)【再掲】P5 参照

- ⑥. セーフティステーション事業 (社団法人奈良市商店街振興会)

事業完了時期	【実施中】平成 18 年度～
事業概要	子どもの安全はもとより、奈良を訪れる来街者が安心して中心市街地で過ごすことができるよう、警察署、消防署、学校、PTA 等と連携して安全・安心なまちづくりを行う。
事業効果又は進捗状況	子どもが身の危険を感じた時に、気軽に店舗に助けを求められるよう、子ども 110 番のステッカーを配布し、商店街に加盟している各店舗に貼り付けている。また、地元警察と連携し、情報交換等を行っている。さらに一昨年の冬は、全国的にインフルエンザが流行したため、成人式にてマスクを配布した。 今後も、地道に活動を継続していく予定である。

- ⑦. 業務用空きビルを活用した起業家育成事業 (平井不動産株式会社)

事業完了時期	【済】平成 22 年度
事業概要	空きビルに、将来の独立開業を目指す起業家を集め、奈良の特産品及び将来特産品になりえる商品の販売を中心に、その事業スキルを育成する。
事業効果又は進捗状況	平成 22 年 11 月にチャレンジショップ「なら青丹彩 (あおにさい)」をオープンした。基本的には、それぞれのブースで営業をしているが、カフェスペースを利用し、他テナントの商品を展示販売するなど入居者同士での連携もはかられている。また、事業主体としては入居者に営業面でのアドバイスを行っている。 今後は、勉強会を開催するなど、商店街とも様々な連携をはかる予定である。

- ⑧. 近鉄奈良駅前商業施設「な・ら・ら」整備事業 (平井不動産株式会社)

事業完了時期	【済】平成 20 年度
事業概要	「スローライフ、スローフード」や「ちょっとした贅沢とゆったりとした時間」をコンセプトに個性あふれる魅力的な店舗で集客を図

	る。
事業効果又は進捗状況	近鉄奈良駅から徒歩1分という好立地を活かした「な・ら・ら」は、本年度で開業から4年目を迎えた。施設コンセプトに呼応した12店舗のテナントが入居し、施設共通のポイントカードを発行するなど、一体となって誘客力の向上に努めている。飲食店を中心に構成された本施設は、店じまいが早く夜が寂しい中心市街地のイメージを変えつつあり、地元の利用者のみならず滞在型旅行者の満足度向上にも貢献している。

⑨. 奈良まちかど博物館認定・PR事業（奈良市）

事業完了時期	【実施中】平成15年度～
事業概要	近鉄奈良駅から北側のエリアにおいて、伝統の技や仕事場、個人の収集品等を見せ、親しんでもらうようPRする。
事業効果又は進捗状況	訪れる人は徐々に増加の傾向にある。 また、平成22年3月にならまちエリアでも同様の博物館20館が開館し、奈良の伝統的な手仕事の姿を来館者に伝えている。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

平成23年度の歩行者・自転車通行量は、平城遷都1300年祭を開催した昨年度から8.5%下落した。東日本大震災による観光客の減少等が影響しているものと見られる。

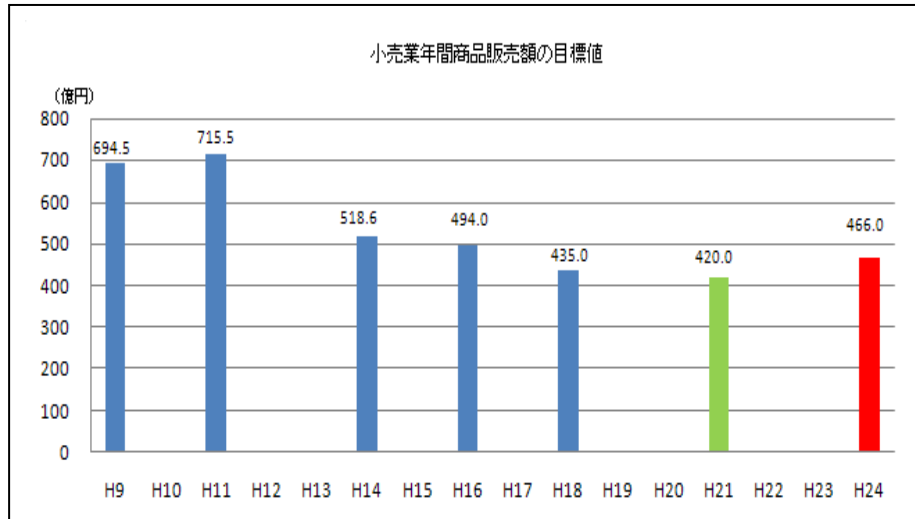
一方で、夏の「なら燈花会」や冬の「なら瑠璃絵」といった新しい観光イベントが、歴史文化遺産巡りに次ぐ観光の柱として育ってきている。そこに商店街を巻き込んだ「あるくん奈良スタンプラリー」や「あるくん奈良まちなかバル」などの誘客イベントを展開することで、来街者に多層的なまち歩き楽しみ方を提案し、目標達成に向けて巻き返しを図りたい。



## Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「活力のあるまち」

「目標指標名」※目標設定の考え方基本計画 P75～P76 参照

### 1. 調査結果の推移



年	(単位:億円)
H18	434 (基準年値)
H19	
H20	
H21	420
H22	
H23	
H24	466 (目標値)

注) 調査方法: H9, H11, H14, H16, H18・・・商業統計調査(全数調査)  
H21・・・・・・・奈良市独自調査(標本調査を実施し、有効回答 91 件をもとに推計)

### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 業務用空きビルを活用した起業家育成事業(平井不動産株式会社)【再掲】P6 参照

②. 商業インキュベータ活用事業(奈良もちいどのセンター街協同組合)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	商業インキュベータ施設「もちいどの夢 CUBE (キューブ)」の 9 区画(※開業時は 10 区画であったが、平成 23 年に 9 区画に改装)の店舗スペースを、次世代の地域商業を担う起業家の卵に提供し、育成を図る。
事業効果又は進捗状況	平成 19 年に開業した夢 CUBE から、平成 23 年 3 月に第 1 期の卒業生 10 名を輩出した。そのうち 6 名が、中心市街地内の空き店舗を活用して起業するなど、中心市街地の活性化に寄与している。現在は 1 期生の卒業と入れ替わりに 2 期生 9 店舗が入居し、本格起業を目指して営業している。

③. 一店逸品づくり研究事業(小西通商店街振興会)

事業完了時期	【実施中】平成 19 年度～
事業概要	小西さくら通り商店街において、それぞれの店舗のお勧め商品やサービスの魅力を一体的に発信することで、商店街全体の魅力向上を

	図る。
事業効果又は進捗状況	小西さくら通り商店街では、『自慢の逸品 45 点』を選定し、それらを冊子にまとめるとともに、一店逸品ツアーを開催し、お勧めの商品やサービスの提案を積極的に行っている。商店街が取り組みを推進することで、各店舗がそれぞれの強みを磨き、かつ顧客満足と向き合う空気が醸成され、商店街全体の活気を生み出している。

④. 近鉄奈良駅前商業施設「な・ら・ら」整備事業（近畿日本鉄道株式会社）

【再掲】P7 参照

⑤. ホテル建設事業（奈良市）【再掲】P6 参照

### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

本市の独自調査による最新値（平成 21 年）では、前年（平成 20 年）9 月から継続するリーマン・ショックによる小売業への大きな影響が懸念されたが、基準値（平成 18 年）から 3.4%の減少に止まった。

2つのインキュベータ施設「夢 CUBE(キューブ)」と「なら青丹彩」が、若手起業家が活躍できるまちの旗振り役として機能し、商店街に緩やかな若返りと活力をもたらしており、新たなインキュベータ施設が平成 24 年秋に開業する予定である。もう一つの明るい材料として、大型商業施設「ピエラ奈良」が同年 3 月に JR 奈良駅高架下に全面開業したことがあげられる。店舗総面積は約 5,300 m<sup>2</sup>で、食品スーパー「マックスバリュ」を核とした 16 店舗が一斉にオープンした。平成 17 年に同地区で閉店したダイエー奈良店に代わる商業拠点としての役割が期待されている。

今後も目標達成に向けて、起業家支援や商店街活性化イベントの開催等の取組みを進めていく。